

令和 2 年度 窯業技術研究所事業報告

1 教育経費

- ・ものづくり研究会の開催 3 社（5 名） 別紙資料①
講師：塚本カナエ（岡山県立大学デザイン学部デザイン工学科/特任教授）
計 3 回の研究会（10/13、10/29、12/2）
商品開発に関わるデザイン、コンセプトについて研究会を開催し、成果品の展示発表を行った。
- ・土から陶へ、野焼きに学ぶ講座 受講者 15 名
12,000 年前の土器を鑑賞し、窯や施釉陶器について推考
※陶磁器デザイン講座は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 新分野開拓事業

- 定温恒温機の更新 314 千円
- CAD 講座の開催 別紙資料②
 - 初級コース 6 月（4 回）4 名
 - 中級コース 8 月（4 回）2 名

3 伝統技術伝承事業

- 技術講座の開催 別紙資料②
 - ・染付け講座 9 月～10 月（8 回）7 名
- ※上絵付け、石膏講座は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

4 食器デザイン展開催事業

- ・第 25 回児童・生徒食器デザイン展 別紙資料③
 - 応募総数 1,740 点（小学校 1,618 点、中学校 122 点）
 - 11 月 1 日～11 月 30 日 Web 陶器まつりの中で開催
 - 入賞 30 点の原画とお皿、入選 100 点のお皿
- ・陶磁器卸商業協同組合理事長賞のデザインを給食食器に採用
- ・入賞作品 7 点を市役所市民ホールに展示

5 依頼試験・試作業務

令和2年9月1日より、使用料、手数料を50%減免

- ・試験件数

R2年度 710点 (327件)

R元年度 567点 (273件)

- ・試作件数

R2年度 140点 (105件)

R元年度 148点 (94件)

手数料合計 R2年度 3,640,655円 R元年度 3,077,020円

6 学校教育事業、地域活動等の支援

- ・産業振興センターとの共同事業

「映える写真講座」 Web陶器まつりに参加する企業、作家 25名

- ・公民館の活動支援

釜戸公民館の講座の支援・・・家庭教育学級～お皿の上絵付け 12月

- ・大湫まちづくり推進協議会の活動支援

転写プリンターを活用し、旧大湫小学校の銘板を作成

- ・伝統文化学習 (10/23、11/10、11/18) 瑞浪高等学校 19名

生徒がデザインした2種類の器を、ロクロ、タタラ技法で成形

※インターンシップ (2/1～2/5) 瑞浪高等学校 (2名) は中止

7 試験機関との連携

- ・四試験研究機関との連携

- ・東濃四試験研究機関協議会 (12/4)

- ・岐阜県陶磁器デザイン協議会 理事会・定期総会 (7/1)

- ・陶磁器技術研究会 (12/9、3/15: Zoom会議)

- ・名工大・東濃四試験研究機関協議会 令和2年度成果発表会

名古屋工業大学先進セラミックス研究センターにて開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止